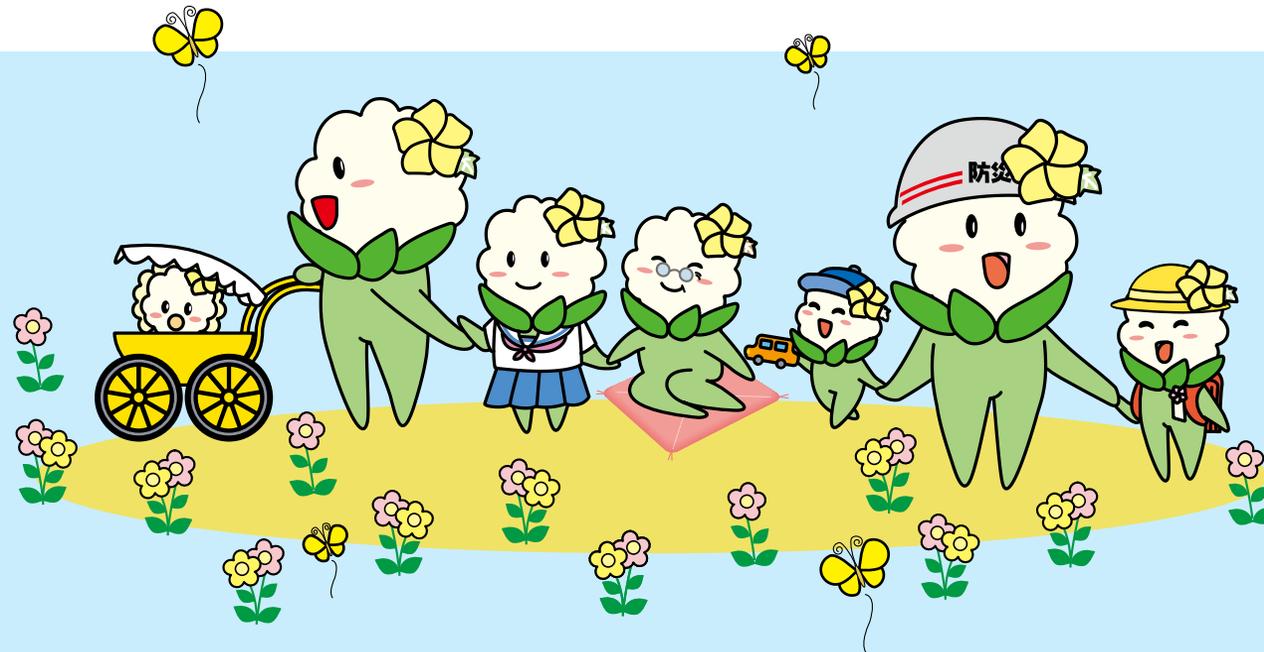


令和5年度 運営方針の策定に向けて



平野区運営方針とは・・・？

将来ビジョンの年度ごとのアクションプランとして、将来像の実現に向けた施策（まちづくり）と具体的取組をまとめたものです

将来ビジョン

将来ビジョンのめざす状態

笑顔輝くまち ひらの



令和4年度 平野区運営方針

経営課題1

安全・安心のまちづくり

誰もが愛着を持ち、安心して
住み続けることができるまちをめざす



- ・ 地域防災力向上に向けた支援
- ・ 地域防犯力向上に向けた支援
- ・ 地域活動力向上に向けた支援
- ・ まちの魅力の向上に向けた未利用地の有効活用

経営課題2

みんなで支えあう
福祉のまちづくり

すべての人がお互いを尊重しつつ、
つながり、支え合うまちをめざす



- ・ 各地域の特性に応じた地域福祉支援体制の充実
- ・ 地域における支えあい活動への支援

経営課題3

こどもが元気で
育つまちづくり

こどもたちが家庭・学校・地域で育まれ
健やかに成長し、次の世代を
担っていくことができるまちをめざす



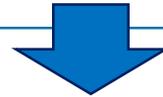
- ・ 児童虐待防止・早期発見への取組や子育てに悩む親への支援
- ・ こどもの学習意欲の向上
- ・ こどもたちへのサポートや学校生活の定着支援

運営方針

次年度への基本的な考え方

区長の方針

- 地域の自助・共助がいかに大切かを呼びかけながら、大規模災害や感染症等に備え、**防災力の強化**を図る取組を、喫緊の課題としてさらに進めていく。
- すべての人が地域で孤立することのないよう、**「発見」「見守り」「支える」ための取組**を一層充実させていく。
- こどもたちの健やかな育みを支えるため、こどもたちが「生きる力」を身につけ、自分らしくいきいきと成長していけるよう、**切れ目のない施策**を進めていく。
- 孤立した家庭環境や保護者が抱える不安の中で、児童虐待が深刻化しており、**虐待を未然に防ぎ、深刻化させないための対策**をより一層強化していく。



区における様々な課題に対し、異なる分野の取組を連携・協働することでその解決を図りながら、各取組を通じ、地域内、地域と区役所など、あらゆるつながりを主体的に醸成し大切にするとともに、これまで培ってきた様々な取組を積極的に発信し、「次世代につなげる(継承する)」ことで、平野区を笑顔で暮らしやすいまちにすることをめざす。

課題認識

- 災害発生時に、住民同士の助け合いによって防災活動が行えるよう「自助・共助」を推進していく必要があり、基盤となる地域でのつながりを深めることが重要である。
- こどもや女性が被害者となる犯罪は後を絶たず、高齢者を狙った特殊詐欺の被害は深刻な情勢が続くなど犯罪に対して不安を抱く人が少なくない状況であり、地域ぐるみで、犯罪などの防止に取り組む必要がある。
- 各地域活動協議会の自律運営を実現するためには、地域の実情に即した効果的な支援を行う必要がある。
- 区内には市営住宅建替え跡地や、もと小学校など51か所、約22ha(令和4年8月1日時点)の非常に多くの未利用地があり、区民ニーズ等を踏まえた未利用地の有効活用を図る必要がある。

主な戦略

- ◇ 「自助・共助」の推進のため、地域住民などが参加する自主防災組織の主体的な防災活動の実施支援
- ◇ 地域全体で犯罪を発生させないような環境づくりの推進
- ◇ まちづくりセンターを活用した地域活動協議会の支援
- ◇ 区民ニーズなどを踏まえた未利用地の有効活用



具体的な取組

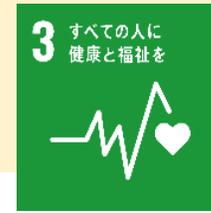
(令和4年度実績)

- 各地域の防災リーダー代表者を対象とした連絡会
- 各地域での防災訓練・情報伝達訓練の支援
- 防犯カメラの設置
- 青色防犯パトロールによる巡視
- 自律的な地域運営への支援(財政的支援、中間支援組織の活用)
- 中間支援組織を活用した会計処理の支援
- 未利用地の有効活用への取組(長原駅前用地における開発事業
予定者の募集・決定など)

⇒次年度に向けて…



みんなで支えあう福祉のまちづくり



課題認識

- 平野区では高齢者や障がい者など支援を要する区民が多く、団塊の世代が75歳以上となる2025年に向け、今後もさらに増加が見込まれることから、支援が必要な方への正しい理解の促進を図りつつ、「発見」「見守り」「支える」ための地域特性に応じた支援体制の構築が必要である。
また、可能な限り、誰もが住んでいる地域で住民同士お互いに支えあいながら暮らし続けることができるよう、多様な職種間の連携によるネットワークづくりや健康寿命の延伸を図るための取組を区民に広げる必要がある。



主な戦略

- ◇ 地域での福祉活動を中心に担う「地域福祉活動コーディネーター」が地域の福祉活動の担い手とともに、各地域において専門支援機関等との連携を図りながら見守りや相談ができる体制を機能させることによる地域福祉力の向上
- ◇ 寝たきりにならないようにするための運動習慣や、認知症の発症を予防(遅延)する取組の支援



具体的な取組

(令和4年度実績)

- 区社協や関係機関と連携しつつ、地域の見守りなどの地域支援体制の充実
- 各地域の課題抽出や分析を行い、地域の福祉活動への支援
- つながりづくりや支えあい活動の好事例について、区社協と連携しつつ情報発信
- 「いきいき脳活サポートマニュアル」を活用した取組を地域などが実施できるよう支援
- 「いきいき百歳体操」において、サポーターの養成ならびに養成後の支援
- 障がいのある方や認知症の方、その家族などが暮らし続けることができるよう、
周囲の理解促進のための取組



⇒次年度に向けて…

こどもが元気で育つまちづくり



課題認識

- 平野区では非常に多くの要保護児童(虐待リスクのある児童)が登録されており、「重大虐待ゼロ」をめざし、「未然防止」「早期発見」「早期対応」の3つの観点から体制を充実させる必要がある。
- 生活困窮度の高い子育て世帯においては、複合的な家庭問題を抱えている事例も多いため、学校における教育分野の支援と区役所における保健福祉分野の支援を連携し、総合的な支援を実施する必要がある。
また、高校中退の問題についても、区内の府立高校との意見交換会において深刻な状況が報告されているため、高校生活の定着支援に取り組む必要がある。
- こどもたちが経済的な理由や家庭環境に左右されることなく、魅力や個性を伸ばし、学習習慣の定着を通じて「生きる力」を身につけることができるよう、こどもたちの学びを支援する必要がある。

主な戦略

- ◇ 児童虐待防止・早期発見への取組や子育てに悩む親への支援
- ◇ 複合的な課題を抱える子育て世帯に対する総合的な支援と高校生活の定着支援
- ◇ 読書運動や清掃活動など、様々な活動に対する表彰や学力サポート事業を実施



具体的な取組

(令和4年度実績)

- 子育て支援関係者のスキルアップ講演会を開催
- 区役所と地域及び学校との連携をより密にすることで、「要保護児童対策地域協議会」の機能を強化
- 楽しく子育てできるような情報の発信
- 読書ノートを区内小中学生及び就学前(3～5歳)の児童に配付
- 区内市立小学校の児童を対象に国語・算数等の学習支援
- こどもサポートネットの効果的实施
- さまざまな理由で不登校に陥るおそれのある高校生への個別支援

⇒次年度に向けて…

